



裾野市民文化センター



第30回囲碁大会

静岡県すこやか長寿祭囲碁大会は、毎年裾野市民文化センターで実施されており、昨年度の第30回大会(写真右)は、200名の選手が参加され熱戦を繰り広げました。

しかし、今年(令和2年)10月29日に実施された第31回大会は、コロナ禍の影響もあり藤枝市、富士市、御殿場市、裾野市、伊東市、函南町、長泉町のみの市町から参加された選手10名が、令和3年10月に行われる「ねんりんピック岐阜2021」大会の出場権を目指し、県代表3名枠を勝ち取るための熱戦を繰り広げました。



第30回大会入場受付



第31回大会受付・検温

写真左の第30回大会(令和元年度)では、受付時に行列が出る盛況ぶりでしたが、今年第31回大会においては受付時に手のアルコール消毒と検温を行い、密を避けるなど徹底した感染防止策を講じた大会運営の中で安心・安全の対策が施された大会となっています。



渡辺浩会長



感染防止(桌上シールド板)

昨年の大会では、日本棋院静岡県裾野支部連合会渡辺浩会長の肝いりで、会場の一角に設けた「親子囲碁入門教室」に、近隣市町から集まった親子連れの皆さんが真剣な面持ちで講師の指導を受ける姿で会場に活気があふれていた大会を思い出しましたが、今年はコロナ禍の中で感染防止を第一に考えた大会となっています。大会内容は、「ねんりんピック岐阜2021」の県代表3名を選出する県選手権戦のみに絞られ、小・中学生も参加した「段位・級位戦」や「親子囲碁入門教室」を中止にするなどして、県選手権戦は桌上シールドアクリル板を挟んでの対局(写真右)となっています。



窓側換気



入口ドア換気

試合会場は、窓ガラスと入口ドアを開放して換気をしっかりと行うなど、徹底した感染防止策が取られています。



第1局対戦風景



三劫無勝負試合

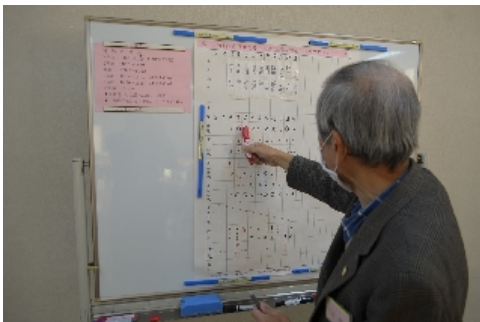
第1回戦(1局目)に珍事が起こりました。渡辺浩会長も、60年の囲碁歴の中で初めてその場を体験したとの珍事が起きたとのこと。

その珍事とは、丸山昭二さんVS鈴木行夫さんの対局で「三劫無勝負」が発生しました。囲碁のルールで再試合(写真右)を行っています。

〈囲碁に無知な私が調べましたところ〉

第十二条: 対局中に同一局面反復(三劫以上、循環劫、長生などで生じうる)。

双方が同意した時は無勝負とする。(日本囲碁規約より)



対戦成績表



江面世話人

試合進行管理を行っているのは、昨年「ねんりんピック紀の国わかやま2019」大会で、囲碁団体戦で優勝、個人戦でも優勝した江面雄次さんです。



優勝決定戦



静岡県代表3選手

選手権4局では、3勝同士の長崎清登さん(富士市)と鈴木俊雄さん(長泉町)が優勝をかけて対戦しましたが、4戦全勝で長崎清登さんに軍配が上がり優勝を成し遂げました。

静岡県囲碁代表選手として「ねんりんピック岐阜2021」に出場されるのは、優勝の長崎清登さん(写

真中央)、2位の鈴木俊雄さん(写真右)、3位の丸山昭二さん(写真左)の3名に決まりました。おめでとうございます。ご活躍をお祈り申し上げます。

取材:富士・富士宮・北駿地区担当 生きがい特派員 渡邊英機